

森林吸収源インベントリ情報整備事業ブロック別地域講習会 関東ブロック

開催日：2012 年 7 月 30 日(月)

場所：茨城県常陸太田市 （調査地点コード 080290）

講師 大貫・今矢・橋本（森林総研本所）

概要

㈱綜企画設計環境事業部の担当者 3 名を対象に地域講習会を実施した。講習会当日の天気は晴れで、気温が高く作業には厳しい環境であった。

試験地は車道から未舗装の農道を 100 メートルほど入り、そこから森林斜面を 50 メートルぐらい登ったところである。林層は雑木林で、西端にはヒノキなどの針葉樹も有った。西端が一部平坦地形である以外は、西向きの斜面地である。

9 時には調査地点で講習会を開始した。まず、調査概要を説明した後、枯死木調査を始めた。11 時頃に枯死木調査が終了した。その後 N 地点に移動し、土壌調査の説明を開始した。12 時過ぎに断面整形と記載を終了し、昼食を取る。

12 時 45 分頃より、説明を再開する。第 3 層は、ブロックサンプリングを行った。14 時過ぎに N 地点での説明・土壌調査を終了し、そこからは W, E, S 地点にそれぞれ講師 1 名、担当者 1 名と 3 班に分かれて作業を行う。しかしながら、カメラが一つ、円筒とバットが 2 セットしかいないため、W, E 地点を優先して行い、道具が空きしだい S 地点の調査を開始することになった。途中、E 地点で H 層が見つかったため、全員 E 地点に集合し、H 層の観察と説明をうけた。

暑さや初めての作業と言うことで、作業時間がのびた。W 地点の円筒とバットが S に受け渡されたのは 17 時 30 分頃であった。作業がすべて終了し、車道脇まで下山したのは 18 時 15 分頃で、その後サンプルチェックや挨拶を行い、講習会が終了したのは 18 時 50 分頃であった。

森林での調査経験が無いことにくわえ、猛烈な暑さのため、体力的にも精神的にも困難を感じているようであった。4 名で作業を行うとより負担が軽減されること、必要な調査用具の周到な準備が調査の労力を軽減することを、総括の一つとしてアドバイスを行った。



枯死木調査の様子



枯死木調査の様子



土壌調査の様子



H 層



サンプルチェック